

「多摩 4 大学 Festival プロジェクト」

担当者 酒井駿・中村郁也（3 年） 島田将孝・後藤考輔・橋本祥希・石井湧太（2 年）

① プロジェクトの概要・目的

目的：イベントの目的の第 1 は、多摩市にある 4 大学（大妻女子大学、恵泉女学園大学、国士舘大学、多摩大学）の学生が連携し、ゼミ活動やサークル活動の成果を住民、市民団体、行政、企業の皆様に紹介すること。第 2 の目的は、学生の活動団体と地域、市民団体、行政、企業との新しいつながりを作ることです。

概要：多摩市の大学から、学生有志により集まったゼミやサークルの活動成果を発表すること。オーガニックを利用した喫茶店との共同経営や、体育系のパフォーマンスなど、切り口は様々である。7F ロビーは参加型の各ブースを作る、8F ホールではコンサート、パフォーマンスなどの発表がメイン。

主催：各大学の学生有志による実行委員会

共催：関戸公民館、多摩市教育委員会

会場：聖蹟桜ヶ丘 VITA ホール 7・8 階(喫茶ブース)

開催時期：2014 年 6 月 29 日を予定

② 経緯

私たち梅澤ゼミでは、昨年度、多摩大学のゼミ活動、サークル活動を紹介し、市民の皆様と連携する「多摩大学ゼミナール in 永山学園祭」を開催しました。このイベントは、新都市センター開発株式会社永山営業所のご支援によりグリナード永山にて永山会住民共生事業として開催したものです。

このイベントを通して、多くの地域住民の皆様、子どもたち、市民団体、行政、企業の方々にご覧いただき、私たち学生の活動を知っていただくことができました。また、日頃のゼミ活動、サークル活動の成果発表に対する来場者の方々の反応やご意見を直接伺うことができ、ダイレクトに評価をいただける大変貴重な機会となりました。

昨年度の経験を糧に、地域の方々に知って頂ける喜びと楽しさを近隣の大学生と一緒に味わいたい、また地域の皆様と連携するきっかけを広げたいと考え、このイベントを企画しました。

③ イベント開催に向けて今年度行った活動

- 6/7 イベントの提案にあたり、永山公民館の方に関戸公民館の方を紹介して頂く
- 10/2 関戸公民館にて企画を提案
 - /11 関戸公民館にて会場確保の打ち合わせ
 - /20 人形劇まつりを訪問 兼 会場下見
 - /26 大妻女子大学の学園祭を訪問する予定だったが台風のため中止
- 11/9 恵泉女学園大学の学園祭を訪問。
オーガニックカフェ・華道部・果樹部の方の連絡先を頂く。
- /16 国士館大学の学園祭を訪問。
- /28 関戸公民館にて現状報告と打ち合わせ

④ 今年度の活動成果

- ・関戸公民館での開催が許可され、会場を確保することが出来た。
- ・オーガニックカフェ、華道部、果樹部の方々の連絡先を頂けた。
- ・TAMA 人形劇まつりを見学することで、イベント会場作りのヒントを得られた。

⑤ 来年度の活動・残っている課題

- ・イベントの参加団体を確定させる
- ・会場レイアウト、及びテーマの設定（現段階では、七夕・梅雨等を予定している）
- ・参加団体及び、公民館の方々も含めた全体ミーティングを行い、イベントの概要、目的を再確認し、情報を共有する。
- ・イベントの広報活動（主にチラシ等）
- ・当日のタイムテーブル作成

⑥ まとめ

本来であれば、今年度中に参加団体の確定をして、年明けと同時に参加団体、公民館の方々を含めた全体ミーティングを行い、開催へのモチベーションを上げると共に、イベントの概要や目的を本イベントに関わる全員で共有したかったが、参加団体がなかなか集まらないのが現状である。この状況を打破するためにも、来年度から参加を呼びかける際に、私たちプロジェクトメンバーが、企画内容をしっかりと伝え、ただ参加して欲しいと言うだけではなく、どういう目的があって、そのためにこういう形で参加してもらいたいというように、具体的に内容や趣旨を伝えていくことが課題であると考えている。